

## 令和2年度 事前評価点検表（内部評価）

### 1 事業概要

事業名	主要地方道 大阪和泉泉南線 歩道整備事業	
担当部署	都市整備部 交通道路室 道路環境課 交通安全施設グループ（連絡先 06-6944-9283）	
事業箇所	泉南市新家	
事業目的	<p>本事業箇所は、通学路であり、踏切内歩道が狭いうえに段差があり、非常に危険な状況であるため、歩行者等の安全性が懸念される。</p> <p>そのため、泉南市が、警察や府道路管理者等と連携し策定した「泉南市通学路交通安全プログラム（新家小学校区域）」及び「泉南市バリアフリー基本構想」に基づき、府が歩道整備事業（踏切内歩道拡幅含む）を行い、歩行者等の安全を確保することを目的に実施する。</p>	
事業内容	<p>歩道設置、踏切拡幅</p> <p>事業延長：0.03 km</p> <p>（現況）道路幅員：踏切内歩道 1.5m</p> <p>（計画）道路幅員：踏切内歩道 3.0m</p>	
事業費	<p>全体事業費：約 3.3 億円〔国：1.8 億円、府：1.5 億円〕</p> <p>（内訳）調査費等 約 0.3 億円</p> <p>用地費等 約 0.3 億円</p> <p>工事費 約 2.7 億円</p>	
	<p>【事業費の積算根拠】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業費は積み上げにより算出</li> </ul>	<p>【工事費の内訳】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・歩道整備工 0.6 億円</li> <li>・踏切拡幅工 2.1 億円</li> </ul>
事業費の変動要因	<p>地権者への補償費の算定については、概算額で計上しており、今後の調査により変動する可能性がある。</p>	
維持管理費	<p>－（泉南市へ引き継ぐ）</p>	
関連事業	<p>－</p>	

### 2 事業の必要性等に関する視点

上位計画等における位置付け	<p>○大阪府都市整備中期計画（案）（H28.3）</p> <p>○泉南市バリアフリー基本構想（H25.3）</p> <p>○泉南市通学路交通安全プログラム（R2.3）</p>
優先度	<p>本事業は、泉南市通学路交通安全プログラム及び泉南市バリアフリー基本構想に基づく、通学路及び生活関連経路の交通安全対策であり、踏切内歩道が狭いうえ段差があり、非常に危険な状況であるため、緊急性が高い。</p>
事業を巡る社会経済情勢等	<p>■社会経済情勢等</p> <p>&lt;通学路交通安全プログラム&gt;</p> <p>H24.4.23：京都府亀岡市で集団登校中の児童ら 10 名が死傷する事故発生。</p> <p>H25.12.6：「通学路交通安全プログラム」の策定に向けた取組みについて文部科学省、国土交通省、警察庁の 3 省庁合同通知</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各市町村(教育部局、道路部局など)が主体となりプログラムを策定。</li> <li>・関係機関(教育委員会、警察、各道路管理者)と連携した安全対策の実施。</li> </ul> <p>H27.1：泉南市通学路交通安全プログラム策定</p> <p>H31.3：本プログラムに、当該箇所を位置付けた。</p> <p>&lt;バリアフリー法に基づく生活関連経路の指定&gt;</p> <p>H25.3：「泉南市バリアフリー基本構想」に基づく生活関連経路に当該路線を指定。</p> <p>&lt;その他&gt;</p> <p>R1.11：「大阪府地域防災計画」において、広域緊急交通路に指定。</p> <p>■交通センサスデータ（平成 27 年）</p> <p>自動車交通量: 12,584 台/12h 自転車交通量: 337 台/12h 歩行者交通量: 356 人/12h</p> <p>■新家駅利用者数</p> <p>乗降客数：5,438 人/日</p> <p>■交通事故発生状況（平成 27 年～令和元年）</p> <p>交通事故件数：6 件（うち死亡事故：0 件）</p>
地元の協力体制等	<p>・地元小学校（新家小学校）などから、歩道整備など要望あり。</p>
事業の投資効果<費用便益分析>または<代替指標>	<p>交通安全事業における費用便益分析手法は確立されていない。</p>
事業効果の定性的分析（安全・安心、活力、快適性等の有効性）	<p>【安全・安心】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・歩道整備により、歩行者の安全を確保する。</li> <li>・周辺に小学校があり、児童の安全確保に寄与する。</li> </ul> <p>【活力】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・誰もが安心して社会参加できる生活空間の形成（バリアフリー化の推進・歩行者交通等の利便性向上）</li> </ul> <p>【快適性】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・歩道整備による歩行者の通行利便性の向上</li> </ul> <p>【受益者】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・道路利用者、地域住民</li> </ul>

### 3 事業の進捗の見込みの視点

事業段階ごとの進捗予定と効果	令和3年度 : 踏切拡幅工事 令和4年度～令和5年度 : 歩道整備工事、用地買収
完成予定年度	令和5年度

### 4 コスト縮減や代替案立案等の可能性の視点

代替手法との比較検討	・歩行者の安全を確保するためには、歩道整備（踏切内歩道拡幅含む）を行うことが最善策であり代替案はない。
------------	---

### 5 特記事項

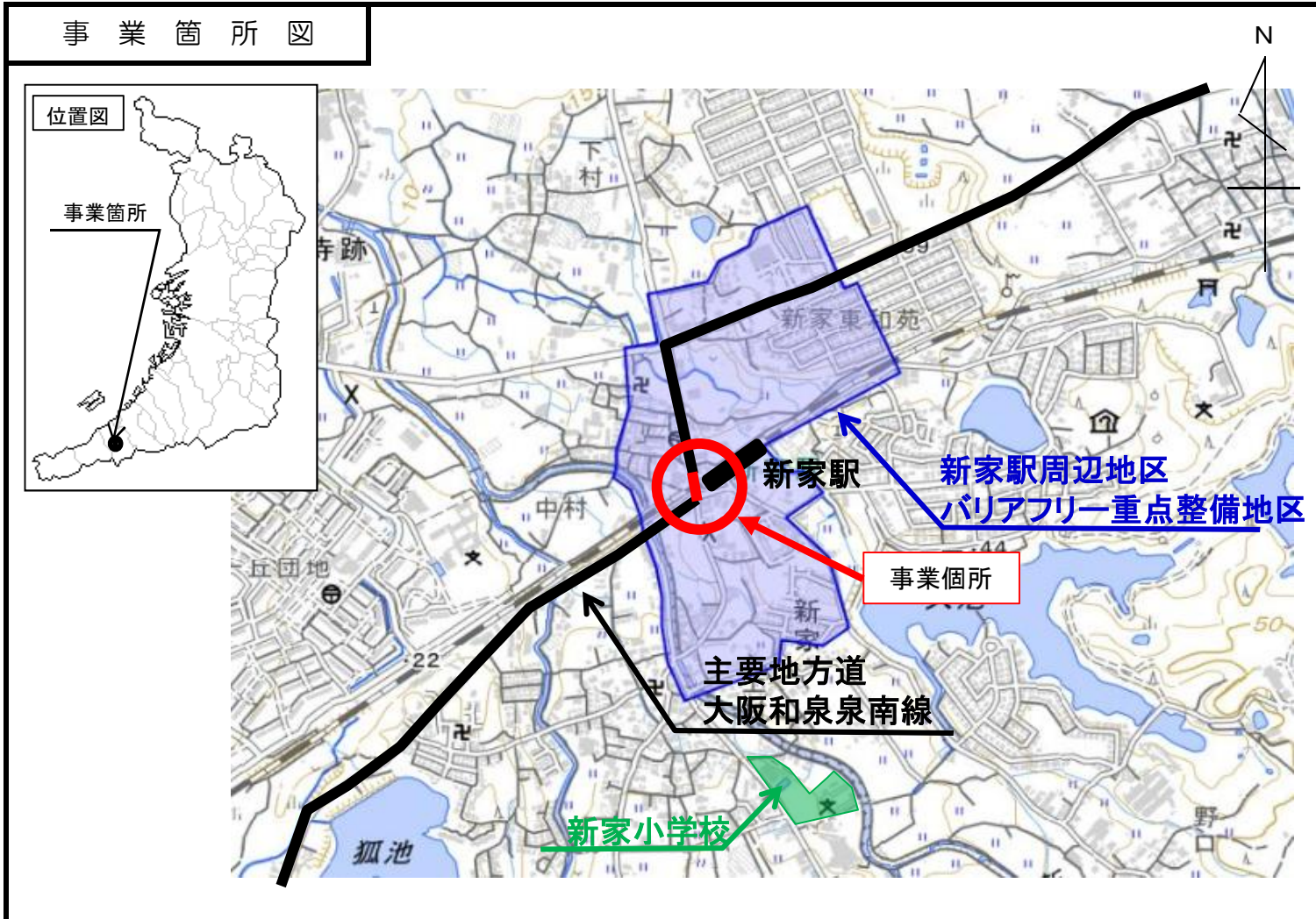
自然環境等への影響とその対策	・周辺は市街地が形成されており、本事業において新たに自然環境に与える影響は少ない。
その他特記事項	—

### 6 評価結果

評価結果	○事業実施  <判断の理由> ・本事業箇所は、通学路であり、踏切内歩道が狭いうえに段差があり、非常に危険な状況であるため、歩道整備を行うことで、歩行者等の安全確保が図られる。 ・泉南市通学路交通安全プログラム（新家小学校区域）及び泉南市バリアフリー基本構想に基づく事業である。  以上の理由から、事業を実施する。
------	--



令和2年度 事前評価 (主要地方道 大阪和泉泉南線歩道整備事業)



現況写真

